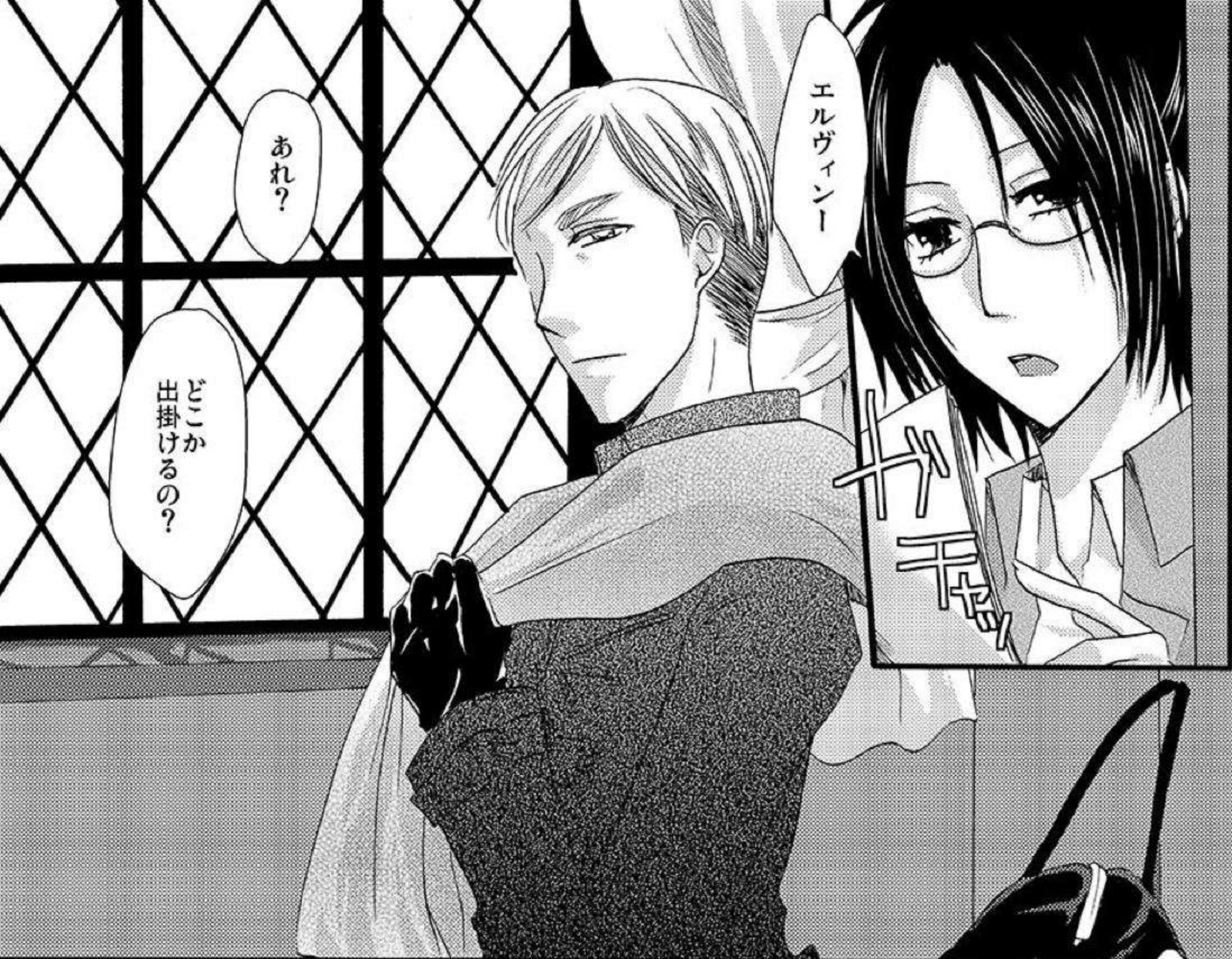


R18

# 雪の降る街を

2014. March 16/Levi\*Hans Fanbook#05/For Adult Only\*





エルヴィン

あれ？

どこか  
出掛けるの？



ああ、

久しぶりに  
里帰りでもしよう  
と思ってね

珍しいね



自分が死ぬ前に  
一度は顔を見せに  
来いって

大騒ぎで  
仕方なくな...

そうか...

ご家族に  
よろしくね

ああ



先日、叔父が...  
母の兄が亡くなって

随分、気弱に  
なったらしい



今年はリヴァイ  
一人ってこと？

あ？

すまないが  
そうなるな…



…って  
どうなの？



いやほら、  
ミケはもう実家に  
行っちゃったし

私も  
里帰りするし



別に  
お前が気にする  
ことじゃねえ…

それに



今までは  
エルヴァインや  
ミケが  
残ってたから  
良かったんだけど



一人つっても  
他にも残ってる  
ヤツはいるだろ？

それはそう  
なんだけどさあ…





雪の降る街を





何もねえ...



.....

ガッ

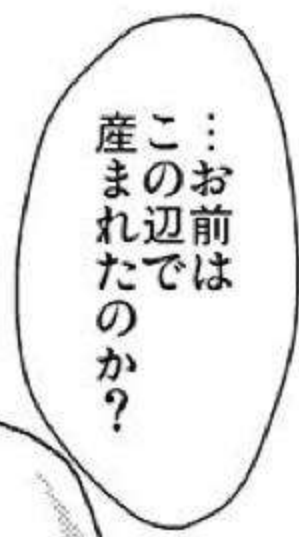


もうすぐ着くよ

ガラッ











…すまないが  
しばらく  
世話になる



ほら、  
リヴァイ



随分と  
可愛らしい  
ぼうやを連れて  
来たんだねえ

まあまあ



ゆっくりして  
行っておくれ

狭い所で  
申し訳ないけど

ああ



……ッ!

……

……



ここが  
あなたの  
部屋の

…オイ



何だ…こりゃ

ハンジよ

小月キ



私が  
掃除しても  
いいんだけど

どうせ  
気に入らないで  
やり直すだろ？

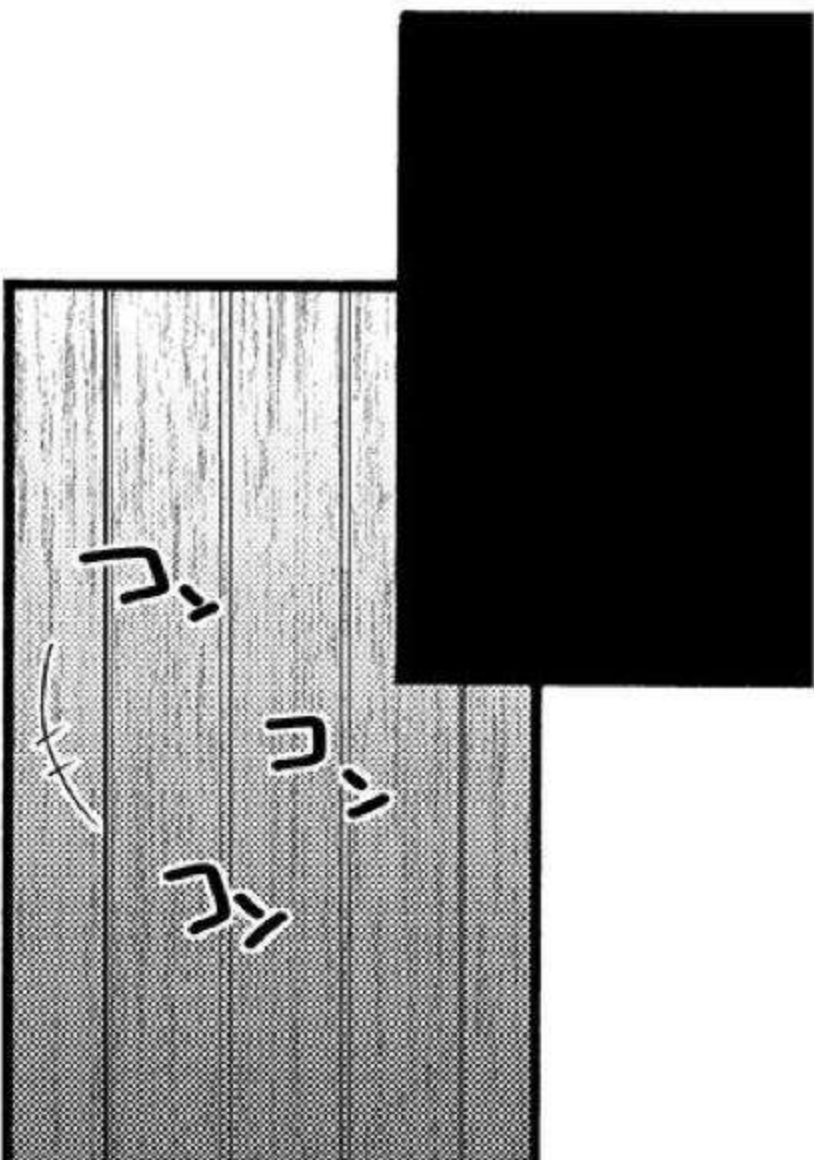
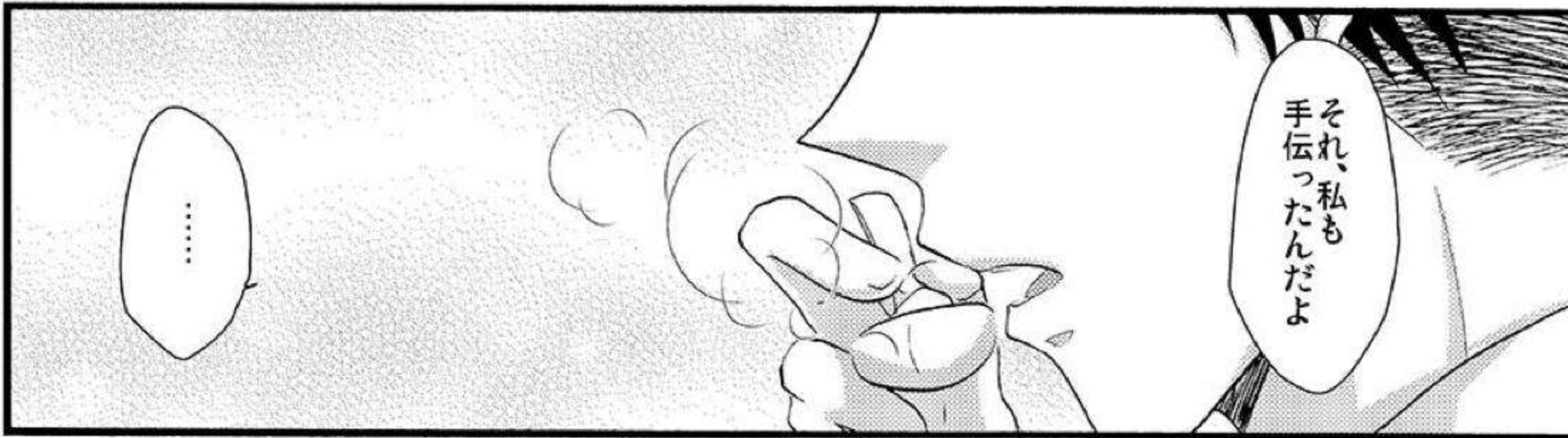


仕方ねえ…

あ、ついでに  
居間と廊下と…

オイ  
クソメガネ

冗談だってば









リヴァア...



でも、悪くないなら良かった...



こういう場所に慣れてないせいかな？



ん！

ちよっ



ん？



ちよっどー...

あっ♡

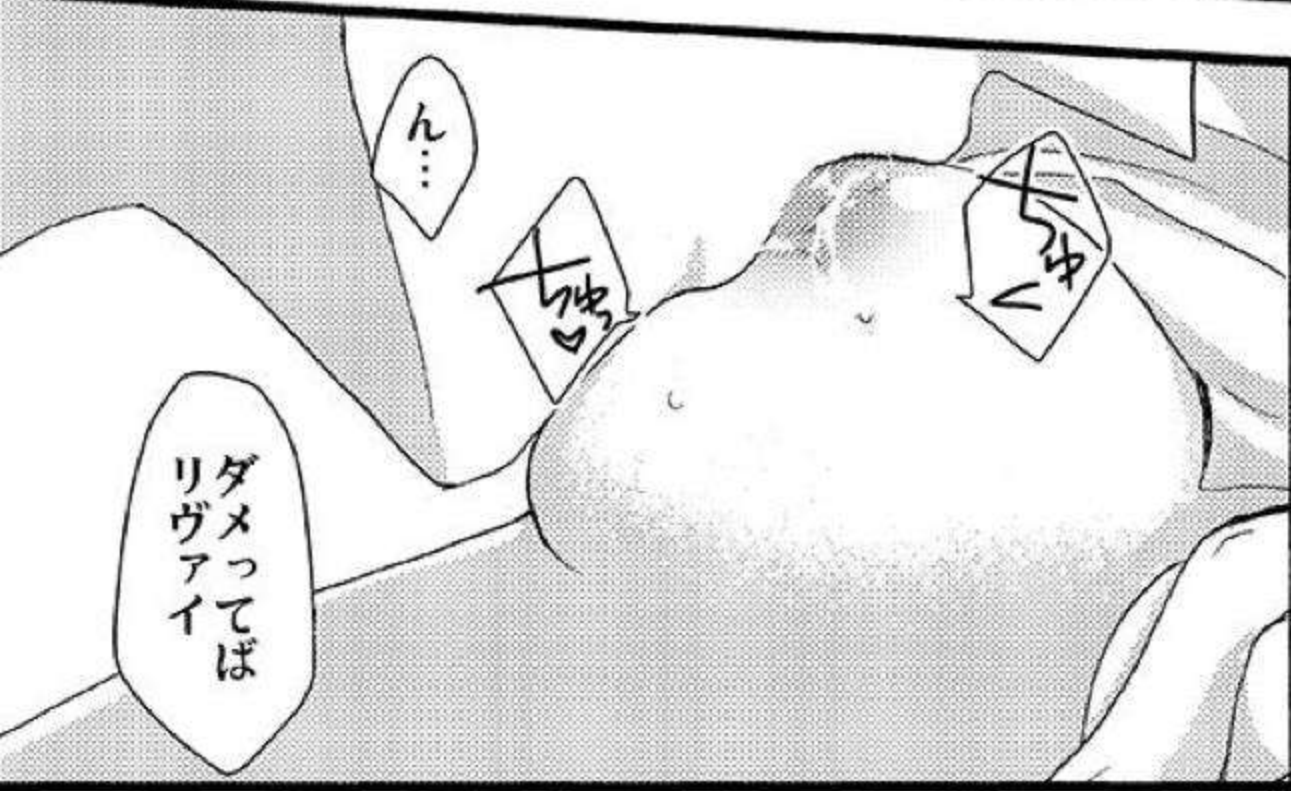
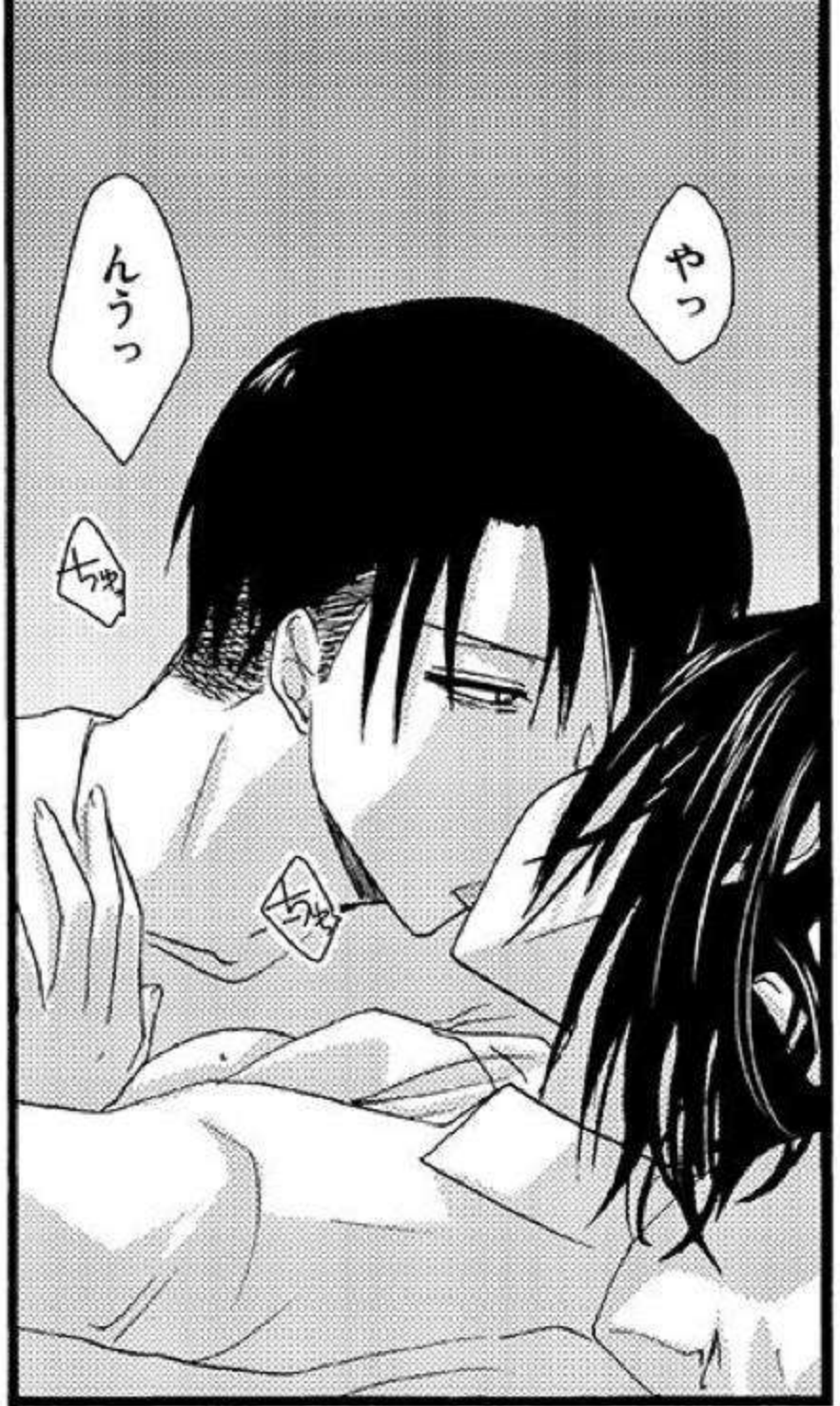


このままじゃ寝れそうにねえからな

どっ！  
触って！







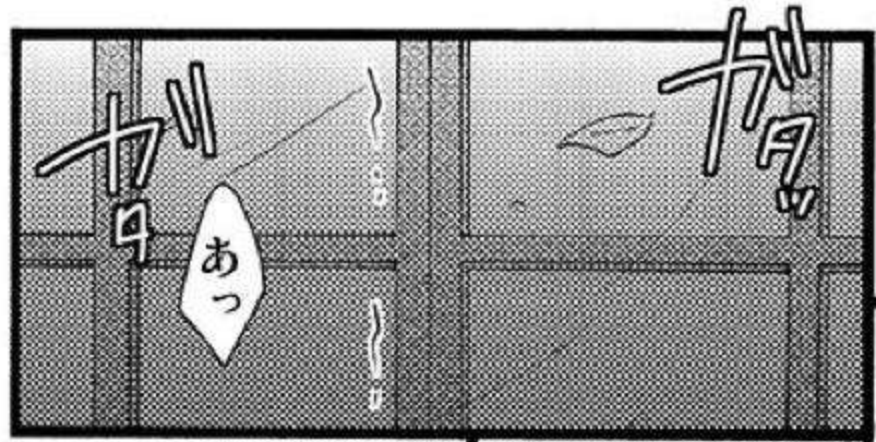




…っあ  
…して



どうすんだ?  
コレ



んうう…

ハ  
ッ



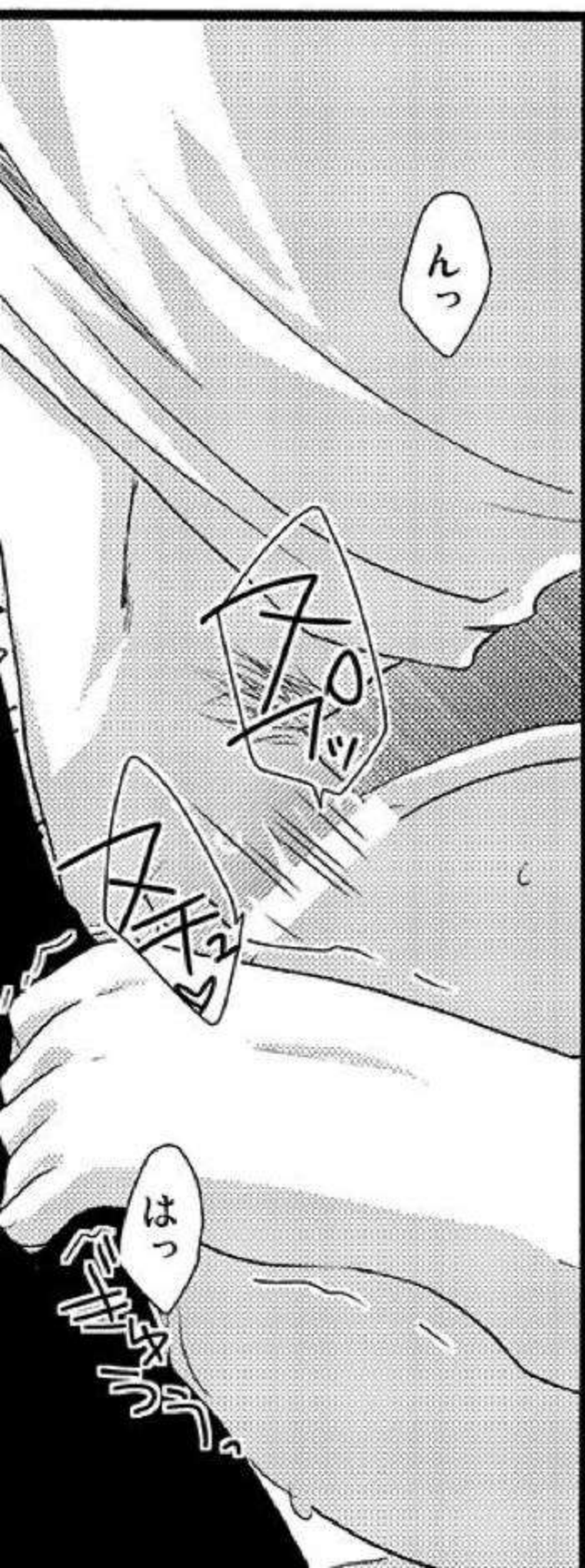
ズ  
ッ

んっ♡

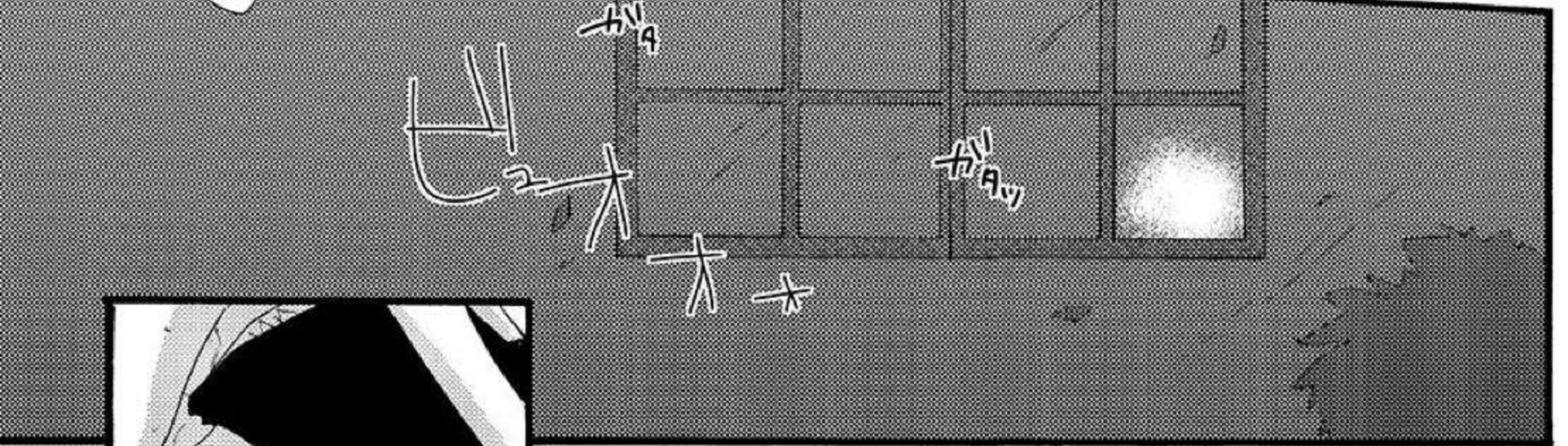
ハ  
ッ

ハ  
ッ





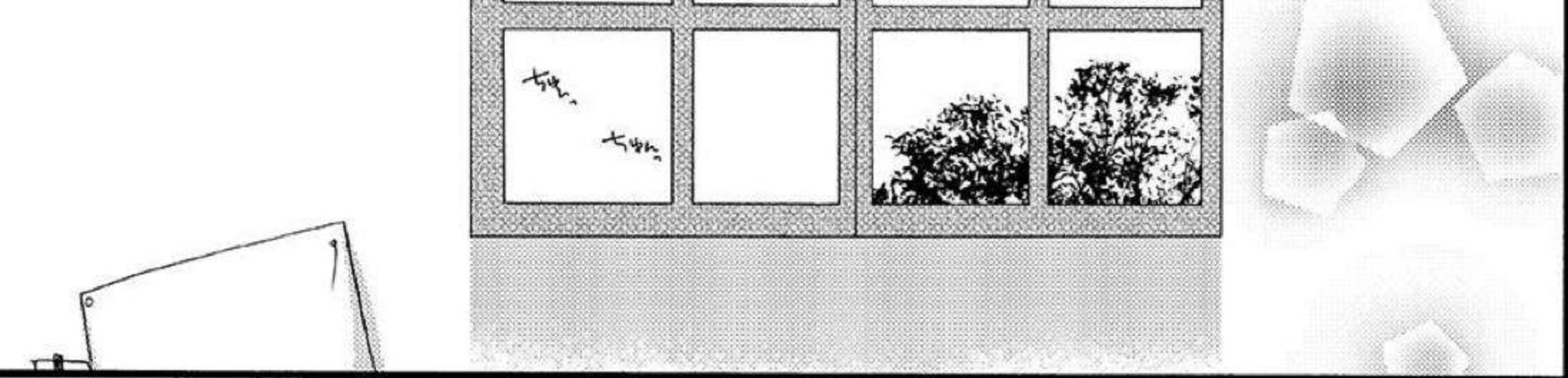




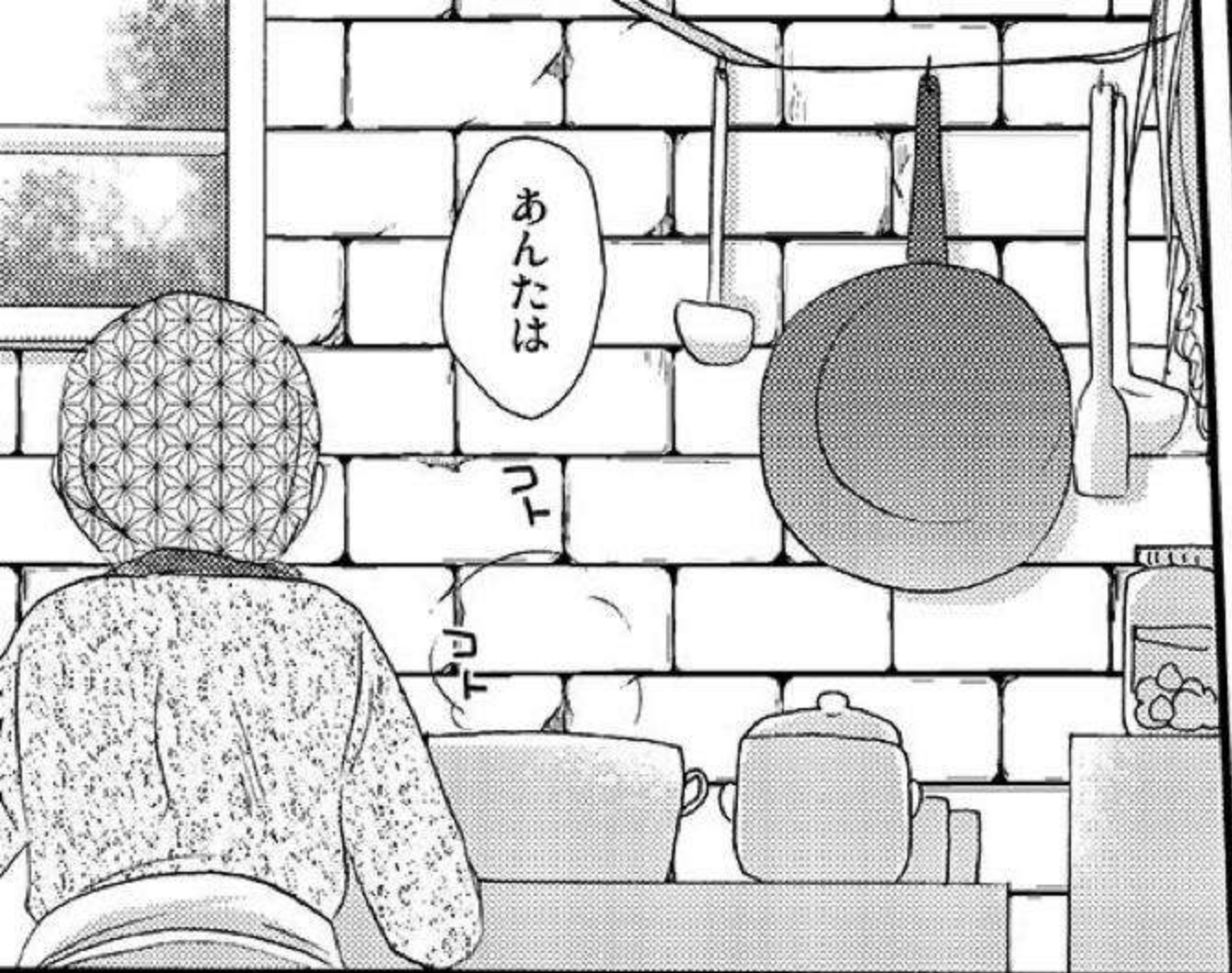


雪の降る街を









あんたは

フ

フ



...



俺や  
ハンジとの  
ことを

何も  
聞か  
ねえ  
んだ  
な

カ  
チャ

カ  
チャ



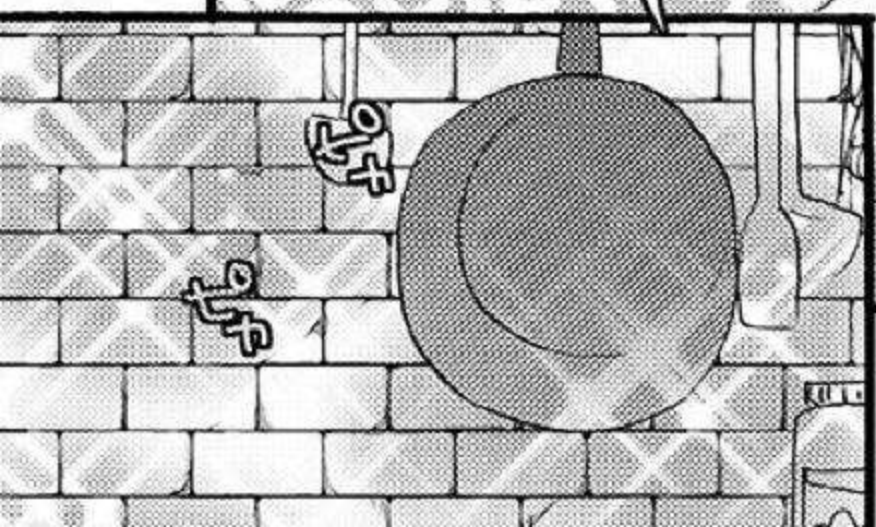
...いい人？

ああ  
若い人は  
「恋人」とでも  
呼ぶのかねえ？



ぼうやが  
ハンジの  
いい人な  
ことくら

見てれば  
わかるさ





オイ  
ばあさん

薪割り  
終わったぞ



ほんとに  
ねえ...

リヴァイは  
本当に  
働き者だねえ...



一休みして  
お茶にでも  
するかい？

おお：  
ありがとう



ああ...

何か  
馴染んでる



...



それじゃあ  
おばあちゃん

おやすみ  
なさい





掃除とか…  
薪割りとかさ…



あ？

色々、ごめんね  
リヴァイ



…何がだ？

—いや



—あと

おばあちゃんが  
変なこと  
言ってる…



ちゃんと  
違ってたの  
よかったです  
よかったです



あなたのことを  
恋人か何かと  
勘違いしている  
みたいでさ

おは、

……







そんなに嫌なら  
てめえで  
否定しとけ

むーっ



…何だ？



ハタから見りや  
似たような  
モンだろ

…え？



別に  
嫌とか…  
そういう訳じゃ  
ないんだけどさ

私達は  
そういう関係  
じゃないのに

そう勘違いされるのは  
あなたを好きな子達に  
何か…悪い気がして

何だ  
そりゃあ



なあ…

お前が  
俺をここに  
連れて来た

理由はなんだ？  
ハンジ



本音を  
言えば

ただ、  
あなたと一緒に

年を越したかった  
だけかもしれない

今年も一緒に  
戦ってくれて

ありがとう

一緒にお茶を  
飲んでくれて

ありがとう

一年の  
終わりまで

私の我儘に  
付き合ってくれて  
ありがとう





今年も一年  
ありがとう

リヴァイ



……



何にかな？

ん？



……俺からも  
礼を言う



お前が

思いつかないなら  
無理に考えなくても  
いい……



……



……





今夜は  
外が静かだから  
音が響く...



んっ

ハッ  
ハッ



はっ

ハッ  
ハッ

ハッ

リヴァイツ

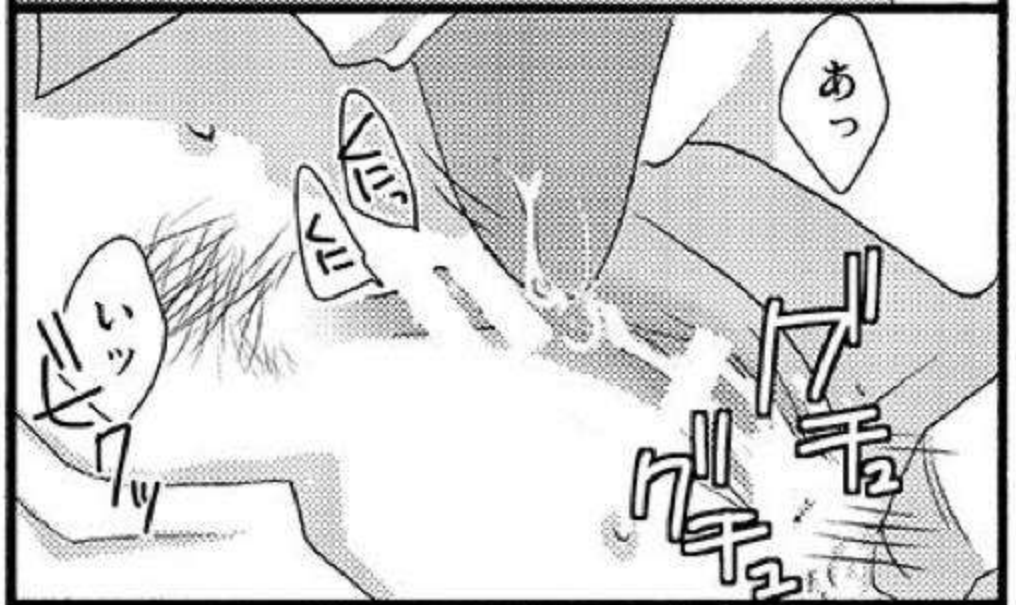
ハッ



んうッ

ハッ  
ハッ

ハッ  
ハッ



あっ

ハッ  
ハッ

ハッ  
ハッ



あー!

ハッ

ハッ



あっ

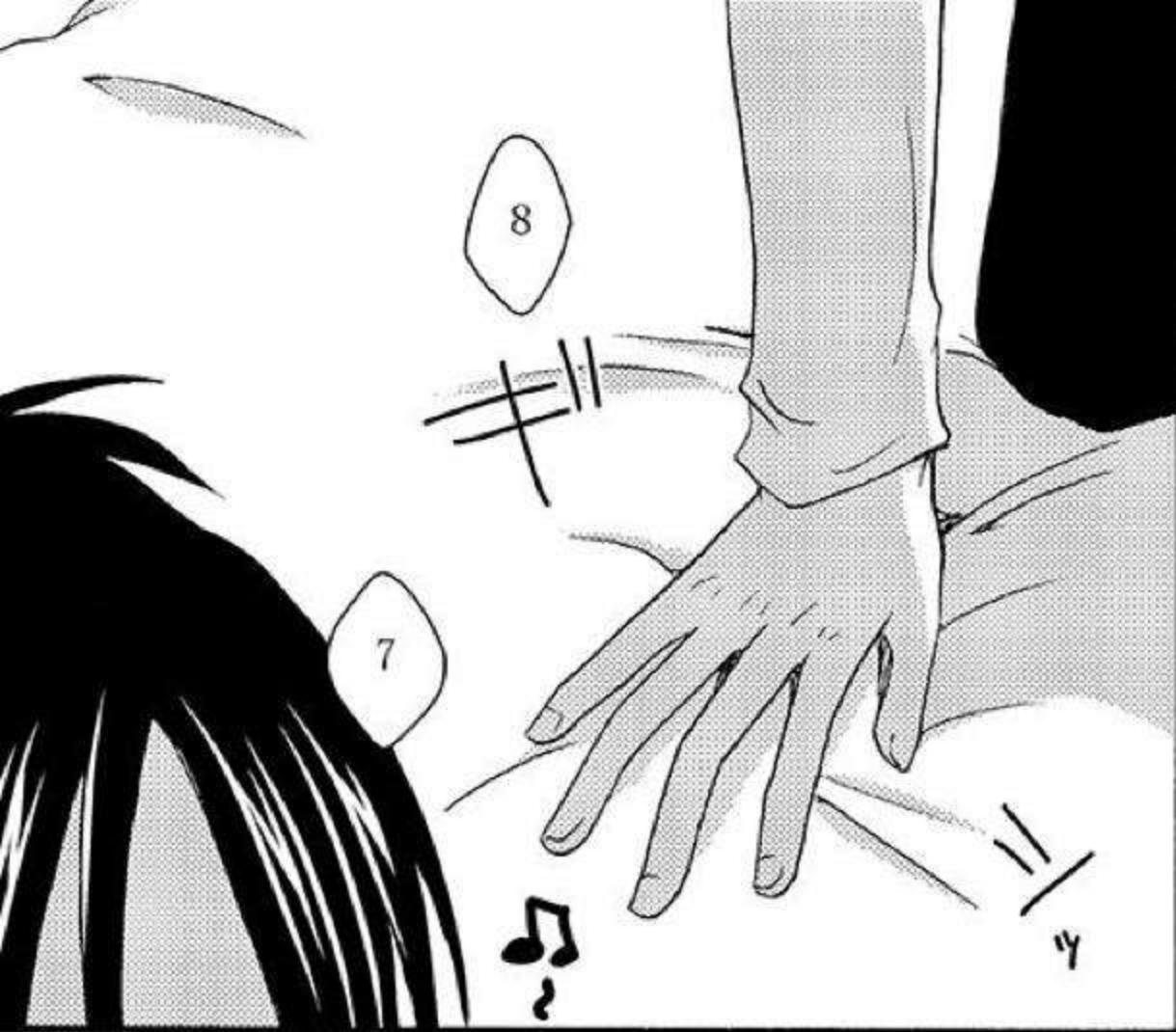
うん



ハンジ...

そろそろ











あ？

ねえ  
リヴァイ



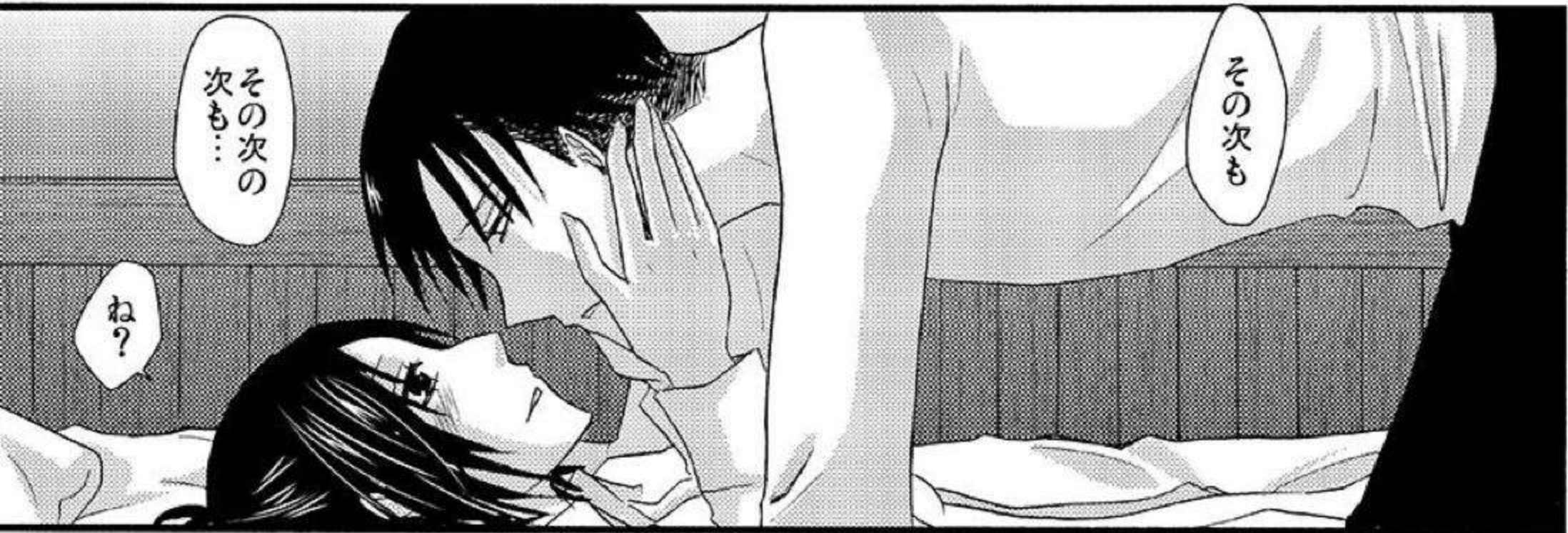
でも、  
コレもいいね

新しい  
年越しの方法

何だ？



次の年越しも  
キスしよう



その次の

その次の  
次も…

ね？



悪くはねえ…が

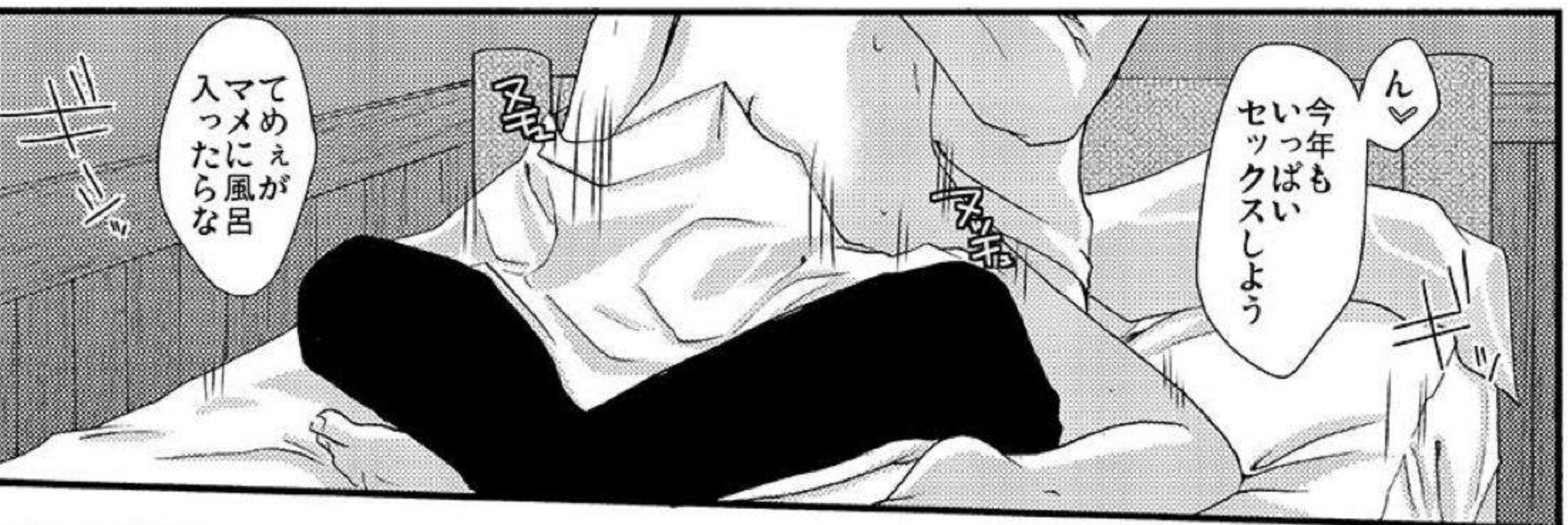
お？



まあ  
悪くない…

本当？







巨人も  
たくさん  
倒さなきゃね

そうだな



…今年も



今年も

沢山  
死んじゃうの  
かなあ…



俺やミケが  
削いで

お前や  
エルヴィンが  
考えるんだらう？



そうしない  
ために



…うん



うん  
そうだ

そうだよね  
リヴァイ



こいつ  
加減  
ち

集中しろ



ひあッ



—わかったら





やっぱり

人肌って  
いいなあ

…チツ



おっ  
おっ



俺は寒い  
さっさと  
暖めろ

ははっ  
我侘な人だなあ

いいよ  
もう…



ハンジッ

あッ



あっ♡  
リヴァアイッ

あっ



あとはあなたの  
好きにし…ってえ

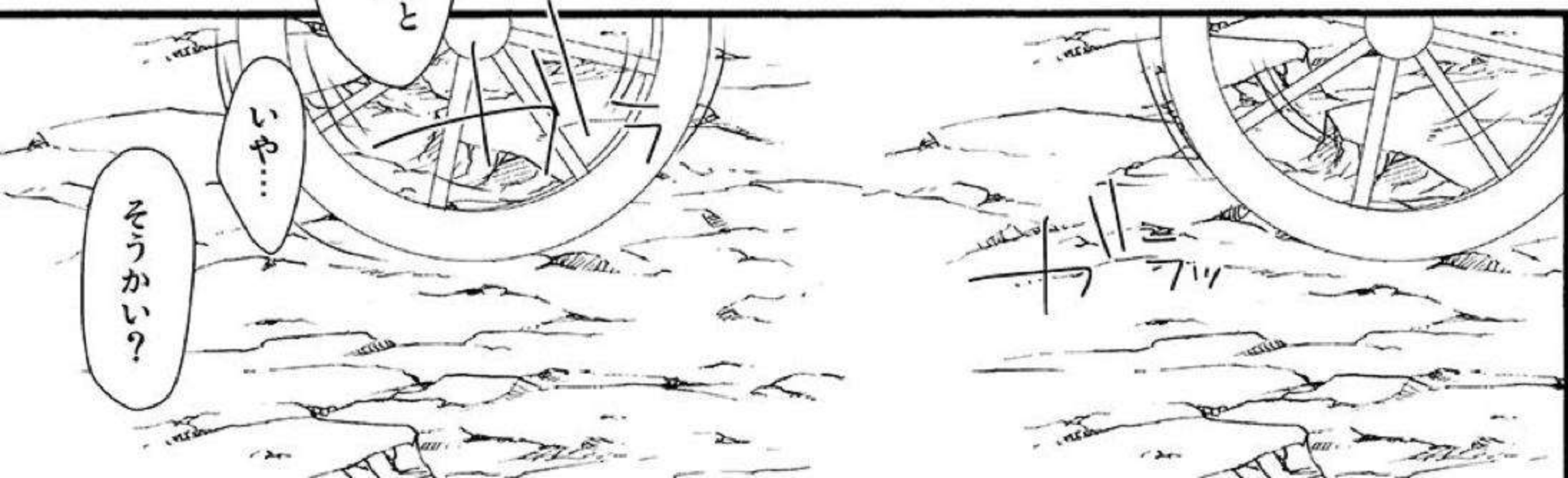
んんッ♡



それじゃあ  
おばあちゃん









なかなか  
食べねえ  
ばあさんだと

思っただけだ

キラッ  
キラッ

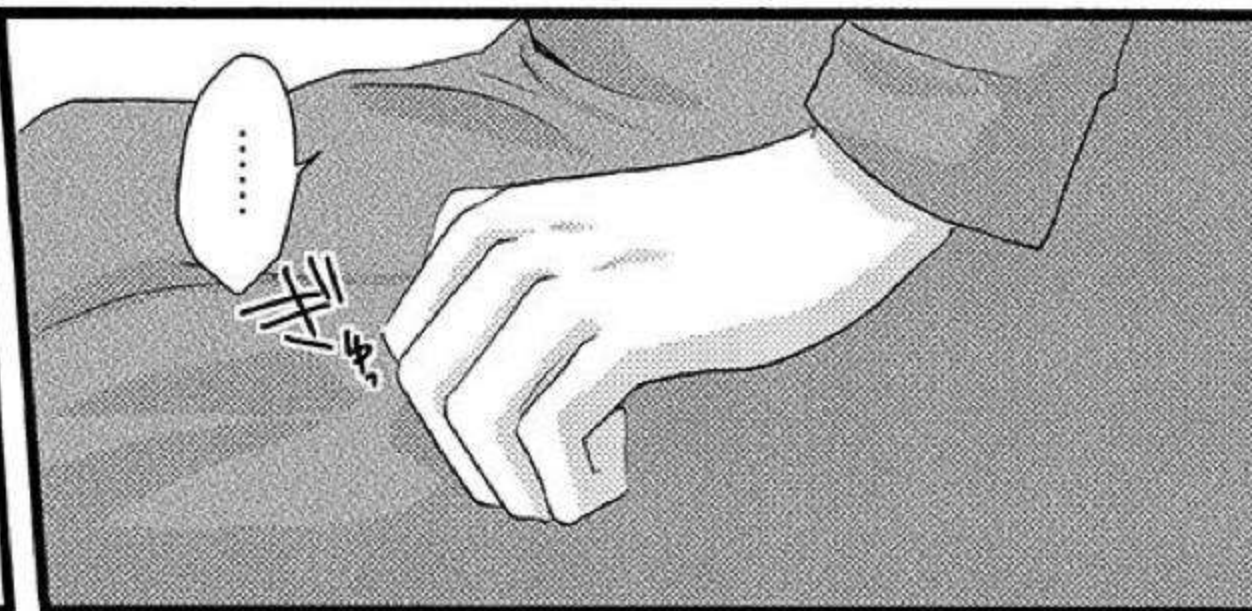
キラ

何だよ  
それ…



…色々  
すまなかった  
リヴァイ

…また何か  
今度は何だ？



…



昨夜は  
泣き言を言って  
しまったから…



家に帰ったせいで  
少し感傷的にな  
ったのかな…



それよりも  
真つ最中なのを

忘れていた  
ことの方を  
反省しろ

それも  
悪かったって



ごめん  
リヴァイ

あなたに  
安らいで  
もらう為に

ここに連れて  
来たのに

私の方が  
甘えてばかりで



あの  
世界に戻るのが

少し怖くて  
悲しくなって  
しまった



俺も今は  
兵士長じゃなくて

ただの  
ぼうやだな



帰ったら  
ちゃんと

いつもの  
分隊長に  
戻るから…

…なら



おははははっ  
それ根に持って  
たんだ？

もってねえよ

もってるじゃん

戻ることねえ…

してるじゃ  
ないか



—次に  
おばあちゃんに  
会えるのは

いつに  
なるかなあ

また  
いつでも

帰れば  
いられる

そのときは

俺も一緒に  
連れて行け…

メシ代に  
掃除くらいは  
してやる

うん

また一緒に帰ろう

次も

その次の次もー

雪だまりー！  
リリアイ

